

職員行動計画書

【令和4年度】

科名	看護部	総括責任者	看護部長	稲村 ほづみ
—		副責任者	副看護部長	山中 享子 千葉 多恵子

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①入退院支援の強化による質の向上および入院期間の適正化に努めます。
②高度急性期、急性期医療を考慮した看護配置を検討します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R4目標値	R4実績	R3実績
PFMシステムの確立により、効率的な入退院調整を行う。	入退院支援室 看護部	・入院前面談件数 ・入院期間尺度Ⅱ以内の退院率	・入院前面談2,000件以上 ・入院期間尺度Ⅱ以内退院率70%以上	面談:1,574件 期間尺度71.1%	・入院前面談430件 ・入院期間尺度Ⅱ以内退院率70%
チーム医療の推進により、多職種連携で診療報酬取得や看護の質の向上につなげる。	看護部 診療部 他職種	・診療報酬算定加算 ・抑制帯使用率	・認知症ケア加算、周術期に関する加算等 ・抑制帯使用率15%以下	算定件数15,991件 696,771円 抑制帯使用率21%	・算定件数366件 8,228円 ・抑制帯使用率32%
効率的で適正と考える看護人員配置の検討を行う。 (入退院支援室と外来、5D小児産科エリアの統一、5AB病棟の単独開床)	看護部 入退院支援室	・統一に向けた検討会	月1回	定期的な検討により、人材交流実施	0件
医療職の働き方改革及び看護の質の向上を鑑み特定行為指定研修医療機関としての申請を行う。	診療部 看護部	特定行為指定研修機関として認可される	・ワーキングチーム立ち上げ ・特定行為の領域選定、予算編成	R5年10月開講	なし

II 患者満足度の視点

【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

地域との看看連携の強化により患者満足度の推進に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R4目標値	R4実績	R3実績
地域看護職との協働、在宅同行訪問への参加	特定・認定看護師 外来看護師 入退院支援室	・在宅患者訪問看護指導料、退院前後訪問指導料算定数 ・再入院率	24件/年	10件	0件

職員行動計画書

【令和4年度】

科名	看護部	総括責任者	看護部長	稲村 ほづみ
—		副責任者	副看護部長	山中 享子 千葉 多恵子

Ⅲ 経営・財務の視点

【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

看護職員の意識改革【自覚と自律】を進め、withコロナにおける更なる新入院患者の受入れに努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R4目標値	R4実績	R3実績
PFMシステムを活用し、効率的に新規入院患者を受入れる	看護部 入退院支援室	新規入院患者数	新規入院患者数 10,300人	9,683人	新規入院患者数 9,212人
診療報酬改定にともない、看護加算を積極的に取得する行動を計画する(各部署で1つ以上)	診療部・看護部	認知症ケア加算算定件数 抑制帯使用率	認知症ケア加算 1取得 抑制帯使用率 15%以下	認知症ケア加算 2取得 抑制帯使用率21%	認知症ケア加算 3取得 抑制帯使用率 32%
5AB病棟を効率的に活用し、新規入院ベッドを確保する	看護部 経営企画	・運用病床数 ・病床稼働率 ・人員配置検討	350床(85% 以上)	306.2人 74.7%(許可病床 ベース)	311床(79%)

Ⅳ 職員の学習と成長の視点

【将来構想】62～63ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度(やりがい度)の獲得(職場環境、研修・教育、評価と処遇改善)
------	--------	-----------------------------------------------

「経営戦略」実現のための行動目標

チーム医療や働き方改革に積極的に貢献できる看護師の育成に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R4目標値	R4実績	R3実績
特定・認定看護師育成の育成計画立案(特に認知症)	看護部	特定認定看護師養成 学校への合格者数	3人(認知症ケ ア、重症集中、 嚥下、感染等)	認知症ケア認定 看護師養成所合 格	2人(乳がん、皮 膚排泄ケア認定 看護師)
次世代の看護管理者育成(師長補佐)	看護部	看護管理研修および 診療報酬に関する研 修への参加回数	看護管理・診療 報酬に関する研 修参加2回以上	師長補佐13人が 各2回以上	0

職員行動計画書

【令和4年度】

科名	看護部	総括責任者	看護部長 稲村 ほづみ
—		副責任者	副看護部長 山中 享子 千葉 多恵子

V 社会貢献の視点

【将来構想】64～66ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	-----------------------------------------------

「経営戦略」実現のための行動目標

看護活動を通して病院を知ってもらえる情報発信を行います

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R4目標値	R4実績	R3実績
看護実践の成果を各学会において発表報告	看護管理者 特定認定看護師 認定看護師	学会発表数	4件	3件	3件
認定看護師等が地域に向けて講演と講座で市民への健康を促す	看護管理者 特定認定看護師 認定看護師	地域や看護学校への 講義、講演数	6件	9件	3件
地域看護職との交流による広報活動 ・訪問看護ステーションへの訪問 ・地域医療会議への参加	看護部長 副看護部長 看護師長	訪問・参加回数	24件	9件	0件
動画を用いた看護の情報発信	副看護部長 特定・認定看護師	ホームページ上での動画配信	2件	2件	0件

職員行動計画書

【令和4年度】

科名	全科	総括責任者	室長	松原 隆
病棟名	ICU,CCU	副責任者	師長	高橋 しのぶ

I 医療の質と効率の視点 【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

質の高い高度な医療を提供するICU,CCUの運営を行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R4目標値	R4実績	R3実績
早期(入室後48時間以内)に栄養が開始できる	医師・看護師・栄養士	2日以上在室患者の実施率(消化器外科以外)	90%	78.80%	—
早期(入室後48時間以内)にリハビリが開始できる	医師・看護師・栄養士リハビリ技師	実施率	90%	98.99%	—

II 患者満足の視点 【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

ICU,CCUとして患者・ご家族から信頼、安心される環境を提供します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R4目標値	R4実績	R3実績
患者、ご家族の要望を十分に聴取し、丁寧な説明を行う。	医師・看護師	お褒めの言葉	10件	9件	6件

III 経営・財務の視点 【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

病院収益へ貢献します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R4目標値	R4実績	R3実績
病床利用率の向上	医師・看護師	病床利用率	100%	66.2%	65.2%
重症度、医療、看護必要度のハイケア加算基準をクリアする	医師・看護師	A項目3点B項目4点をクリアする患者割合	93.7%	90.45%	93.7%

職員行動計画書

【令和4年度】

科名	全科	総括責任者	室長	松原 隆
病棟名	ICU,CCU	副責任者	師長	高橋 しのぶ

Ⅳ 職員の学習と成長の視点

【将来構想】62～63ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	-----------------------------------------------

「経営戦略」実現のための行動目標

集中ケアにおける質の高い看護を提供できる看護師を育成します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R4目標値	R4実績	R3実績
院内、院外研修への積極的参加	看護師	研修参加回数	平均6回	平均 5 回	平均4回
急変時の対応研修の実施	看護師	研修実施数	1回	3回	1回

Ⅴ 社会貢献の視点

【将来構想】64～66ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	-----------------------------------------------

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①市民の健康維持、向上のために認定看護師が地域での活動を行います
- ②急性期・周術期医療に関心のある学生の教育に貢献します

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R4目標値	R4実績	R3実績
認定看護師による市民へむけての市民講座を行う	認定看護師	講演実施数	1回	0回	1回
周術期に関わる看護学生の受け入れ	看護師	受け入れ数	12名	見学・オリエンテーション45名 受け持ち 12名	0名

職員行動計画書

【令和4年度】

科名	薬剤科	総括責任者	部長	高田 みゆき
—		副責任者	科長	門倉 徹

I 医療の質と効率の視点		【将来構想】50～52ページ
経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

適正かつ経済的な薬物使用に寄与します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R4目標値	R4実績	R3実績
臨時注射の払出し方法の変更を検討する	薬剤師、医師、看護師	臨時注射薬品の使用状況把握	注射オーダーに基づく払出しの導入	入院)カテ控えにて払出し 外来)循環器、整形、脳神経変更	払出伝票による払出し
外来化学療法におけるバイオ後続品の採用を検討	医師、薬剤師	後続品の使用本数	対象患者へ実施	63本	7本
薬剤師の人材確保に努める	薬剤師、事務職	応募数	募集数以上の応募数の確保	募集数5名／応募者15名	1人

II 患者満足の視点		【将来構想】53～55ページ
経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

患者さんや地域市民のみなさんへ薬の正しい服用を推進します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R4目標値	R4実績	R3実績
服薬指導(入院患者薬剤管理指導料、入院患者退院時薬剤情報管理指導料)の実施	薬剤師	服薬指導算定件数(入院服薬指導算定件数+退院指導算定件数)	13,000件	13,078件	12,665件
薬業連携の推進	薬剤師、医師、看護師、病診連携、保険薬局	地域かかりつけ薬局との連携を図る	ホームページ改訂	肺、食道、胃、肝、胆道、大腸癌レジメン公開	ホームページ改訂(乳腺外科)

職員行動計画書

【令和4年度】

科名	薬剤科	総括責任者	部長	高田 みゆき
—		副責任者	科長	門倉 徹

Ⅲ 経営・財務の視点

【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ・薬品購入費の削減に努めます。
- ・服薬指導の積極的な実施により収入を確保します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R4目標値	R4実績	R3実績
服薬指導(入院患者薬剤管理指導料、入院患者退院時薬剤情報管理指導料)の実施	薬剤師	服薬指導算定件数(入院服薬指導算定件数+退院指導算定件数)	13,000件	13,078件	12,665件
外来化学療法におけるバイオ後続品の採用を検討	医師、薬剤師	後続品の使用本数	対象患者へ実施	63本	7本

Ⅳ 職員の学習と成長の視点

【将来構想】62～63ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度(やりがい度)の獲得(職場環境、研修・教育、評価と処遇改善)
------	--------	-----------------------------------------------

「経営戦略」実現のための行動目標

院内職員に学習の機会を提供します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R4目標値	R4実績	R3実績
医薬品安全管理研修会の開催	薬剤師	講演回数	年間1回	R5.3実施(院内web)	1回

Ⅴ 社会貢献の視点

【将来構想】64～66ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献(災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など)
------	----------	-----------------------------------------------

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①学期発表など学術活動の充実を図ります。
- ②情報発信により、地域貢献に取り組みます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R4目標値	R4実績	R3実績
実務実習受入	薬剤師	学生実習受入数	6人	6人	6人
院外薬局への講習会の開催	薬剤師、医師	講習回数	5回	5回	3回

職員行動計画書

【令和4年度】

科名	放射線技術科	総括責任者	科長	石川 修二
—		副責任者	科長代理	河並 昭彦

I 医療の質と効率の視点 【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①地域医療連携で医療機器の共同利用を推進します。
- ②高精度治療IMRTの安定的運用に努めます。
- ③治療の技術推進に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R4目標値	R4実績	R3実績
医療機器の委託検査推進(CT,MR,RI)	放射線技術科、放射線診断部、地域連携室	委託検査数	1,800件	1,866件	1,802件
高精度治療IMRT(VMAT)の推進	放射線技術科、放射線治療部	患者数	70件	54件	64件
深吸気息どめ乳房照射の導入	放射線技術科、放射線治療部	患者数	10人	13人	0人

II 患者満足の視点 【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①急性期の疾患に即時対応できる技師を育成します。
- ②放射線線量を管理し適正な線量の検査に努めます。
- ③放射線技術科職員の接遇向上に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R4目標値	R4実績	R3実績
新規導入のVitrea(ワークステーション)のソフトで、頭部CTで急性期脳梗塞に有用なperfusion検査を滞りなく夜勤勤務技師全員に習熟	放射線技術科	夜勤技師の習熟率	100%	100%	0%
新規導入機器の線量管理	放射線技術科	線量管理達成率	100%	100%	80%
患者様への接遇向上	放射線技術科	科内検討回数	3回	3回	3回

職員行動計画書

【令和4年度】

科名	放射線技術科	総括責任者	科長	石川 修二
—		副責任者	科長代理	河並 昭彦

Ⅲ 経営・財務の視点

【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- MRの委託検査数を保持し収入を安定させます。
- 施設基準、加算に対して獲得できるよう努めます。
- 放射線機器の修理費削減します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R4目標値	R4実績	R3実績
放射線治療系の施設基準の保持	放射線技術科、放射線治療部、看護部	現在の加算体制の維持	現在の加算体制の維持	現在の加算体制の維持	加算体制維持
MR3Tの施設基準の申請	放射線技術科、放射線診断部	導入時施設基準獲得	導入時施設基準獲得	導入時施設基準獲得	なし
3Tの頭部撮影加算の申請	放射線技術科、放射線診断部	導入時施設基準獲得	導入時施設基準獲得	遅延	なし
放射線技術科での修理費の削減	放射線技術科	修理定価から15%減	修理費15%減	22%	19%

Ⅳ 職員の学習と成長の視点

【将来構想】62～63ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	-----------------------------------------------

「経営戦略」実現のための行動目標

- 業務充実のため専門資格の向上に努めます。
- 院外講習会などに積極的に参加し専門意識の向上に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R4目標値	R4実績	R3実績
技師の専門資格保持推進	放射線技術科	延べ人数	38人	40人	37人
各学会、講習会(e-learning) 延べ参加数	放射線技術科	延べ人数	60人	92人	55人

Ⅴ 社会貢献の視点

【将来構想】64～66ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	-----------------------------------------------

「経営戦略」実現のための行動目標

- 放射線技師学校の臨床実習生の学生を育成します。
- 学会発表での学術活動をします。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R4目標値	R4実績	R3実績
放射線技師学校の臨床実習生の受け入れ	放射線技術科	人数	2人	4人	4人
各学会、講習会の発表数	放射線技術科	発表数	2件	3回	1件

職員行動計画書

【令和4年度】

科名	臨床工学科	総括責任者	科長 熊澤 義雄
—		副責任者	主任医療技師 中西 利基

I 医療の質と効率の視点		【将来構想】50～52ページ
経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①医療機器の安全使用に努めます。
②診療科連携を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R4目標値	R4実績	R3実績
医療機器を安心使用できる体制(保守・点検の実施)	臨床工学技士	管理機器点検数	15,750件	16,460件	15,059件
医療機器を安心使用できる体制	臨床工学技士	病棟ラウンド数	5,100件	5,616件	5,019件
医療機器を安心使用できる体制(コンサルジュ活動)	臨床工学技士	コンサルジュ活動数	45件	68件	40件
診療科の業務依頼への初期対応	臨床工学技士	依頼への返答数	50%	45.40%	44.10%
医療機器安全研修会(web)の実施	臨床工学技士	参加人数	250名	算出不能	102名

II 患者満足度の視点		【将来構想】53～55ページ
経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①患者満足度を高めます。
②緊急時の対応を高めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R4目標値	R4実績	R3実績
わかりやすい情報発信を行います	臨床工学技士	病院ホームページ更新数	2回	2回	2回
血液透析用内シャントの育成を支援します	血管外科医師/臨床工学技士	育成患者数	30名	32名	26名
非透析日に対応します	医師/看護師/臨床工学技士	対応件数	32名	25名	29名
非心臓カテーテル検査日に対応します	医師/看護師/臨床工学技士	対応件数	80名	62名	74名
非心臓血管手術日に対応します	医師/看護師/臨床工学技士	対応件数	16名	31名	16名

職員行動計画書

【令和4年度】

科名	臨床工学科	総括責任者	科長 熊澤 義雄
—		副責任者	主任医療技師 中西 利基

Ⅲ 経営・財務の視点

【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

病院経営を意識した業務実施に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R4目標値	R4実績	R3実績
血液透析用内シャントの育成を入院日数の最適化につなげます。	医師/看護師/臨床工学技士	入院日数	18日	16.5日	19日
心臓遠隔モニタリングを支援します	医師/臨床工学技士	支援患者数	12名	35名	10名
緊急心臓カテーテル治療を支援します (door to balloon time)	医師/看護師/放射線技術科/臨床工学技士	対応人数	50名	31名	45名
呼吸サポートチーム活動を行います	医師/看護師/理学療法士/臨床工学技士	回診患者数	113件	104名	107件
スタッフミーティングを就業時間内に実施します	臨床工学技士	就業時間内実施割合	60%	80%	53.30%

Ⅳ 職員の学習と成長の視点

【将来構想】62～63ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	-----------------------------------------------

「経営戦略」実現のための行動目標

- ① 医療機器の安全安心を学ぶ機会を提供します。
- ② 研修会に参加し知識技術の向上を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R4目標値	R4実績	R3実績
院内外研修会等に参加します	臨床工学技士	参加回数	5回/名	13.1回/名	4.1回/名
体外循環技術認定士の維持・取得を行います	臨床工学技士	参加回数	2回	3回	2回

職員行動計画書

【令和4年度】

科名	臨床工学科	総括責任者	科長 熊澤 義雄
—		副責任者	主任医療技師 中西 利基

V 社会貢献の視点

【将来構想】64～66ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	-----------------------------------------------

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①臨床工学技士を目指す学生の育成に貢献します。
- ②研究発表など学術活動の充実を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R4目標値	R4実績	R3実績
臨床工学技士を目指す学生の育成に貢献する	臨床工学技士	受入人数	4人	5名	6人
救急救命士の実習協力	医師／臨床工学技士	受入人数	18名	17名	17名
研究発表	臨床工学技士	発表数	1回	1回	0回
院内イベントの参加(ブルーサークルフェスタ)	医師/看護師/臨床工学技士等	参加回数	1回	0回	—

職員行動計画書

【令和4年度】

科名	臨床検査科	総括責任者	科長	関口 博子
—		副責任者	科長代理	久保谷久子 内田正則 間地知子

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①新型コロナウイルス感染症に対する安定的な検査体制を構築します。
②術前血管エコー検査を拡充します。

	計画実行者	成果指標	R4目標値	R4実績	R3実績
新型コロナウイルス感染症対応人員の確保	臨床検査技師	検査可能な技師数	11人	11人	9人
術前脈管エコー検査件数増加(緊急整備固定加算に対応する)	医師・臨床検査技師	血管エコー件数	DVT 640件	DVT 700件	1,188件 DVT568件

II 患者満足度の視点

【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

患者さんが安心して採血に望めるような接遇と教育を行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R4目標値	R4実績	R3実績
新入職員採血訓練	臨床検査技師	患者満足度調査のポイントアップ(スムーズ採血と患者対応)	4.8	4.6	4.6

III 経営・財務の視点

【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

委託検査料を削減します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R4目標値	R4実績	R3実績
委託内容の見直しにより院内検査に変更する。	臨床検査技師	委託件数・委託検査料	46,500件 60,000,000円	47,552件 63,303,336円	47,077件 65,804,858円

職員行動計画書

【令和4年度】

科名	臨床検査科	総括責任者	科長	関口 博子
—		副責任者	科長代理	久保谷久子 内田正則 間地知子

Ⅳ 職員の学習と成長の視点

【将来構想】62～63ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	-----------------------------------------------

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①新人教育を行います。
- ②血液認定技師・超音波検査士・細胞検査士を養成します。
- ③職員の能力向上を支援します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R4目標値	R4実績	R3実績
①各部署における新人教育及び当直訓練	臨床検査技師	新人研修評価シートによる評価	各部署の目標値/当直業務ができるように	達成	
②認定試験等の挑戦	臨床検査技師	認定試験合格人数	2人	1人	0人
③学会参加	臨床検査技師	学会参加回数	平均3回/1人	平均6回/1人	平均1.5回/1人

Ⅴ 社会貢献の視点

【将来構想】64～66ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	-----------------------------------------------

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①学生教育を行います。
- ②地域貢献活動を行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R4目標値	R4実績	R3実績
臨地実習	臨床検査技師	受入人数	2人	2人	3人
ホームページに検査業務の一般向け紹介や検査内容・イベント紹介など	臨床検査技師	更新回数	2回	2回	0回

職員行動計画書

【令和4年度】

科名	栄養科	総括責任者	科長	古屋久美子
—		副責任者	主管	菅谷 稚夏

I 医療の質と効率の視点		【将来構想】50～52ページ
経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①質の高い栄養計画の立案、実施に努め、チーム医療に貢献します。
②地域の栄養連携を積極的に実施します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R4目標値	R4実績	R3実績
入院患者の食物アレルギーインシデントの削減	管理栄養士、看護師、医師、委託給食会社	件数	0件	8件	23件
栄養情報提供加算取得数	管理栄養士	件数	50件	17件	30件
早期栄養介入管理実施による経腸栄養(tube feeding)開始数	管理栄養士、看護師、医師	人数	100件	1,321件	未調査

II 患者満足度の視点		【将来構想】53～55ページ
経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

おいしく、治療に結びついた安全な給食提供に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R4目標値	R4実績	R3実績
ホームページの更新	管理栄養士	更新回数	2回	2回	1回
治療食啓蒙のための食イベント開催	管理栄養士	開催回数	1回	0回	0回

職員行動計画書

【令和4年度】

科名	栄養科	総括責任者	科長	古屋久美子
—		副責任者	主管	菅谷 稚夏

Ⅲ 経営・財務の視点

【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①給食材料の見直しを行い、食材費の節約に努めます。
- ②病院経営を意識した業務実施に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R4目標値	R4実績	R3実績
給食材料費の維持	管理栄養士、委託給食会社	食材費	830円/日/患者一人	847円	801円/日/患者一人
早期栄養介入管理加算取得対象数 ICU	管理栄養士、看護師、医師	人数	300人	629人	0人
早期栄養介入管理加算取得対象数 救急病棟	管理栄養士、看護師、医師	人数	600人	1,519人	0人
入院栄養指導実施数	管理栄養士	実施数	1,000件	1,233件	874件

Ⅳ 職員の学習と成長の視点

【将来構想】62～63ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	-----------------------------------------------

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①病院運営を理解するため、院内研修会に積極的に参加します。
- ②業務充実のための専門資格の取得に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R4目標値	R4実績	R3実績
専門資格取得・保持・更新へ繋がる研修会への参加	管理栄養士	参加数	27件	19件	未調査
専門資格取得・保持・更新への取り組み	管理栄養士	専門資格数	14件	13件	14件

Ⅴ 社会貢献の視点

【将来構想】64～66ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	-----------------------------------------------

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①医療分野で活躍できる管理栄養士・学生の育成に努めます。
- ②地域住民へ健康な食生活情報の発信に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R4目標値	R4実績	R3実績
地域健康教室等の出張講座	管理栄養士	開催数	2回	1回	2回
臨床栄養学実習受け入れの実施	管理栄養士	学校数、人数	5校、10人	4校、7人	5校、10人

職員行動計画書

【令和4年度】

科名	医療安全管理室	総括責任者	室長	杉木 正
		副責任者	室長代理	片岡 誠

I 医療の質と効率の視点		【将来構想】50～52ページ
経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

安全で質の高い医療を提供する環境を整備します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R4目標値	R4実績	R3実績
リスク管理を推進する	医療安全管理統括責任者 医療安全管理者 セーフティマネージャー セーフティスタッフ	インシデント・アクシデントレポート報告件数	3,000件以上	3,023件	3,278件
		レベル3以上報告件数	50件以内	35件	28件
		レベル0報告件数	1,000件以上	1,189件	1,354件
		インシデント・アクシデントレポート第一報報告平均日数	2日以内	1.69日	1.16日

II 患者満足の視点		【将来構想】53～55ページ
経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

医療事故発生を防止するよう努め、患者さんが安心して受診、療養できる環境を整えます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R4目標値	R4実績	R3実績
レベル3b以上のアクシデント報告数を前年度以下とする	医療安全管理統括責任者 医療安全管理者 セーフティマネージャー セーフティスタッフ	レベル3b以上のアクシデント報告数	2件以下	2件	2件
		再発防止策の提案	2種	7種	5種
入院患者 転倒・転落発生率	医療安全管理統括責任者 医療安全管理者 セーフティマネージャー セーフティスタッフ	日本病院協会QI 転倒・転落発生率 中央値	0.00266	0.0017	0.0013
入院患者 転倒・転落損傷発生率(レベル2以上)		日本病院協会QI 転倒・転落発生率(レベル2以上) 中央値	0.00056	0.00025	0.00021
入院患者 転倒・転落損傷発生率(レベル4以上)		日本病院協会QI 転倒・転落発生率(レベル4以上) 中央値	0.00005	0.00001	0.00003

職員行動計画書

【令和4年度】

科名	医療安全管理室	総括責任者	室長	杉木 正
		副責任者	室長代理	片岡 誠

Ⅲ 経営・財務の視点

【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①医療安全対策に関する施設基準を維持します。
- ②医療安全に関わる加算・管理料を取得し、安全対策を強化します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R4目標値	R4実績	R3実績
医療安全対策地域連携対策加算の取得	医療安全管理部門	医療安全対策相互連携施設数	6施設	6施設	6施設
ガイドラインに準じた肺血栓塞栓予防実施	医療安全管理部門	肺血栓塞栓症予防管理料算定件数	2,000件	1,928件	1,923件
報告書管理体制加算取得 準備	医療安全管理部門	医療安全対策に係る研修受講	臨床検査技師・放射線技師 各1名の受講	臨床検査技師・放射線技師 各1名の受講完了	(なし)
二次性骨折予防継続管理料取得 準備	医療安全管理部門	骨粗鬆症に対する知識とFLS意義について職員研修回数	1回以上実施	2回実施	(なし)

Ⅳ 職員の学習と成長の視点

【将来構想】62～63ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	-----------------------------------------------

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①医療安全意識向上に必要とされる職員研修を開催します。
- ②研修会・学会等に参加し知識・技術の向上に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R4目標値	R4実績	R3実績
医療安全研修の開催	医療安全管理部門	研修回数	7回	7回	7回
専門医制度研修の開催	医療安全管理部門	研修回数	1回	1回	1回
院外研修・学会への参加	医療安全管理統括責任者 医療安全管理者	参加回数	3回/人	3回/人	2回/人

職員行動計画書

【令和4年度】

科名	医療安全管理室	総括責任者	室長	杉木 正
		副責任者	室長代理	片岡 誠

V 社会貢献の視点

【将来構想】64～66ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	-----------------------------------------------

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①医療安全に関する情報を提供し地域貢献に取り組めます。
- ②地域医療機関と医療安全に関わる連携・相互評価を行い医療安全意識の向上に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R4目標値	R4実績	R3実績
地域医療機関 医療者向け医療安全研修の開催	医療安全管理部門	研修回数	1回	0回	(なし)
医療安全対策地域連携カンファレンスの開催	医療安全管理統括責任者 医療安全管理者	カンファレンス開催数	5回	6回	(なし)
医療安全対策地域連携相互評価の実施	医療安全管理部門	相互評価実施回数	4回	4回	4回

職員行動計画書

【令和4年度】

室名	感染対策室	総括責任者	室長	石井 美千代
—		副責任者		

I 医療の質と効率の視点		【将来構想】50～52ページ
経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ① 医療関連感染の予防に努め感染防止策を啓発します。
② 抗菌薬の適正使用を推進します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R4目標値	R4実績	R3実績
術後予防抗菌薬の適正使用	AST	ガイドラインの遵守率	80%以上	81.80%	57%
広域抗菌薬の適正使用	AST	広域抗菌薬延べ使用日数	昨年度より改善	5,211日	5,881日
尿路カテーテル感染防止	ICT/AST	尿路カテーテル感染率	1.5%以下	2.50%	1.80%
CVカテーテル感染防止	ICT/AST	CVカテ感染率	1.5%以下	1.93%	1.67%

II 患者満足の視点		【将来構想】53～55ページ
経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

患者さんや市民の皆さまに向けて感染防止策をわかりやすく発信します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R4目標値	R4実績	R3実績
市民向け講座の実施	医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師	市民向け講座の回数	3回	1回	6回

III 経営・財務の視点		【将来構想】56～61ページ
経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

医療関連感染による入院期間の延長を防ぎます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R4目標値	R4実績	R3実績
全員対象研修の実施	ICT	受講率	100%	100%	100%
部門別研修の実施	ICT	実施回数	各部署1回以上	各部署1回	11回

職員行動計画書

【令和4年度】

室名	感染対策室	総括責任者	室長	石井 美千代
—		副責任者		

Ⅳ 職員の学習と成長の視点

【将来構想】62～63ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	-----------------------------------------------

「経営戦略」実現のための行動目標

職員の能力向上に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R4目標値	R4実績	R3実績
学会、研修会の参加	看護師・薬剤師・臨床検査技師	参加回数	3回	24回	—

Ⅴ 社会貢献の視点

【将来構想】64～66ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	-----------------------------------------------

「経営戦略」実現のための行動目標

患者さんや市民の皆さまに向けて感染防止策をわかりやすく発信します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R4目標値	R4実績	R3実績
地域医療機関への訪問指導	医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師	訪問指導回数	10回	7回	6回

職員行動計画書

【令和4年度】

室名	入退院支援・医療相談室	総括責任者	室長	女屋 早苗
—		副責任者		

I 医療の質と効率の視点 【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
	(イ) 地域医療	地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(ウ) チーム医療	地域医療連携の充実と指導的役割
		チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

安全・安心な医療を提供できるよう入退院支援を強化します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R4目標値	R4実績	R3実績
人材を育成し、面談室を効率的に使用することで、PFM対象患者を拡大する。	入退院支援・医療相談室スタッフ全員、入退院支援看護師、医師、看護師	入院時支援加算1算定件数	150件/月	118件/月	平均30件/月 (R3年3月は77件) 363件/年
患者・家族が安心して退院後の療養の場に移れるよう退院支援を行う。	入退院支援・医療相談室スタッフ全員、入退院支援看護師、医師、看護師	入退院支援加算1算定件数	500件/月	532件/月	平均272件/月
必要な患者に介護支援等連携指導や退院時共同指導を行う。	入退院支援・医療相談室スタッフ全員、入退院支援看護師、医師、看護師	介護支援等連携指導料算定件数 退院時共同指導料2算定件数	介護支援等連携指導料算定件数:20件/月 退院時共同指導料2算定件数:15件/月	介護支援等連携指導料:10件/月 退院時共同指導料:3件/月	5件/月、60件/年 2件/月、25件/年

職員行動計画書

【令和4年度】

室名	入退院支援・医療相談室	総括責任者	室長	女屋 早苗
—		副責任者		

Ⅱ 患者満足の視点		【将来構想】53～55ページ
経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①地域の関係機関と連携し、患者さん・家族が暮らしやすい地域包括ケアシステムの構築を推進します。
- ②地域と連携して患者さん・家族に安心安全な医療を提供します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R4目標値	R4実績	R3実績
後方連携機関に計画的に訪問し、患者さんにとって有益な連携を図る。	入退院支援・医療相談室スタッフ、入退院支援看護師、医師、事務職員	面談件数	25施設以上と年3回以上面談する。	38施設(病院、訪問診療医、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター等)と3回行った	病院、訪問診療医、訪問看護、施設他26件の機関と年3回以上面談を行った
シームレスなケアが提供できるよう外来、病棟、在宅の看一連携を強化する。	入退院支援・医療相談室スタッフ、入退院支援リンクナース、看護師	情報交換会開催 外来と病棟の連携システム構築と稼働	訪問看護ステーションとの情報交換会開催1～2回/年 外来と病棟の連携システム構築と稼働	実施できず	—
患者さんが安心して当院の治療を受けられるようがん相談支援センターの充実を図ります。	緩和ケア認定看護師、入退院支援・医療相談室スタッフ	がん相談件数	300件/年	200件/年	198件/年
専門的な研修を受けた看護師による訪問看護を提供します。	皮膚・排泄ケア特定認定看護師、緩和ケア認定看護師	訪問件数	10件/年	13件	—
救命救急医療における自殺企図患者等に対する支援の充実を図ります。	リエゾンチーム 入退院支援・医療相談室	精神疾患診断治療初回加算算定件数	20件/年 (前年度支援数17件を参考に)	40件/年	—

Ⅲ 経営・財務の視点		【将来構想】56～61ページ
経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

経営に参画する意識をもち、貢献します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R4目標値	R4実績	R3実績
入退院支援関連の診療報酬算定を漏れなく行う	入退院支援・医療相談室、入退院支援リンクナース、医師、看護師	入院時支援加算1算定件数 入退院支援加算1算定件数 介護支援等連携指導料算定件数 退院時共同指導料2算定件数	150件/月 500件/月 20件/月 15件/月	118件/月 532件/月 10件/月 3件/月	30件/月 272件/月 5件/月 2件/月

職員行動計画書

【令和4年度】

室名	入退院支援・医療相談室	総括責任者	室長	女屋 早苗
—		副責任者		

IV 職員の学習と成長の視点

【将来構想】62～63ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	-----------------------------------------------

「経営戦略」実現のための行動目標

職員の能力向上と病院経営の理解に努めます

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R4目標値	R4実績	R3実績
学会や院外研修に参加する	入退院支援・医療相談室常勤看護師、MSW、PSW、公認心理師	参加回数	1人2回以上	年10回以上の職員もおり、平均的には年5回程度院外研修等に参加していたが、年2回未満の職員もいた	—

V 社会貢献の視点

【将来構想】64～66ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	-----------------------------------------------

「経営戦略」実現のための行動目標

市民の健康・医療に関する関心を高めることに貢献します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R4目標値	R4実績	R3実績
市民・患者サービスの向上のため、市民向け講座の開催	入退院支援・医療相談室スタッフ全員	開催数	1回/年	1回	—

職員行動計画書

【令和4年度】

科名	経営企画課	総括責任者	課長	相澤 史幸
—		副責任者	課長代理 担当長	千葉 伸吾 高梨 一広

I 医療の質と効率の視点		【将来構想】50～52ページ
経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①平塚市民病院将来構想を着実に推進します。
 ②適正に病院会計業務を遂行します。
 ③院内への将来構想の理念の浸透に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R4目標値	R4実績	R3実績
行動計画策定のためのワークショップHCHの運営管理	事務職	次年度に向けた提案	完了	完了	完了
医療情報システム導入(更新)事務(令和5年度まで継続)	事務職	スケジュールどおりの進捗(年度末時点)	スケジュールどおりの進捗(契約～操作研修実施)	スケジュールどおり	—
手術支援ロボット導入事務	事務職	運用開始	完了	完了	—
診療録の質的監査の実施	事務職	監査の実施	2回	2回	—

II 患者満足の視点		【将来構想】53～55ページ
経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

患者、市民に対して、積極的に情報を発信します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R4目標値	R4実績	R3実績
病院広報誌「SMILE！」の発行	医師、看護職、医療技術職、事務職	発行回数	4回	4回	4回
病院PR用動画の作成(総合、募集3種(看護師、臨床研修医、薬剤師))	医師、看護職、医療技術職、事務職	作成種類数	4種類	3種類	—
病院PR用パンフレットの発行(総合、周産期、個室、ロボット)	医師、看護職、医療技術職、事務職	発行種類数	4種類	4種類	1種類
外部媒体(タウン紙)への広告・記事掲載(ロボット導入時)	医師、看護職、医療技術職、事務職	掲載地域数	3地域以上	5地域	—
市民健康講座の開催(院内、オンライン)	医師、看護師、医療技術職、事務職	開催回数	年4回	0回	—

職員行動計画書

【令和4年度】

科名	経営企画課	総括責任者	課長	相澤 史幸
—		副責任者	課長代理 担当長	千葉 伸吾 高梨 一広

Ⅲ 経営・財務の視点

【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①事業運転資金を確保します。
- ②経営健全化のため、経営改善を実施します。
- ③「(仮称)公立病院経営強化プラン」の策定を進めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R4目標値	R4実績	R3実績
年度別重要目標の設定と数値管理	事務職	目標設定とモニタリング	完了	完了	完了
(仮称)公立病院経営強化プランの策定(令和5年度まで継続)	事務職	策定の進捗状況	病院運営審議会での1次案の提示	1次案提示済み	—

Ⅳ 職員の学習と成長の視点

【将来構想】62～63ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度(やりがい度)の獲得(職場環境、研修・教育、評価と処遇改善)
------	--------	-----------------------------------------------

「経営戦略」実現のための行動目標

院内外の研修に積極的に参加することで、職員の能力向上を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R4目標値	R4実績	R3実績
経営マネジメント全般、職員行動計画の策定やデータ分析に関する研修会等への参加	事務職	研修会等への参加	年1回以上	1回	1回
経理知識の向上を図るための研修会等への参加	事務職	研修会等への参加	年1回以上	1回	1回
医療情報システムの知識、IT技術を深めるため、システム更新や保守、新技術等の情報収集	事務職	研修会等への参加	年1回以上	2回	—
院内研修会への参加	事務職	参加数	1人2回以上	1人3.6回	3回

Ⅴ 社会貢献の視点

【将来構想】64～66ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献(災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など)
------	----------	-----------------------------------------------

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①持続的な病院の健全経営により、公立病院が担うべき役割を果たします。
- ②病院経営の透明性の向上を図ります。
- ③患者、市民に対して、積極的に情報を発信します。
- ④災害に対応できる体制を構築します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R4目標値	R4実績	R3実績
市民健康講座の開催【再掲】	医師、看護師、医療技術職、事務職	開催回数	年4回	0回	—
病院の取組について院内外に発信する(学会等)	事務職	発表数	1回	1回	1回

職員行動計画書

【令和4年度】

科名	病院総務課	総括責任者	課長	野上 正志
—		副責任者	課長代理	高田 誠二 木村 明智

I 医療の質と効率の視点		【将来構想】50～52ページ
経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

効率的な医療の提供のため、病院組織を見直します

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R4目標値	R4実績	R3実績
センター機能等の整理と組織的位置づけ	医師、事務職	センター機能等の位置づけの成文化	成文化(要綱など)完了	完了	-

II 患者満足の視点		【将来構想】53～55ページ
経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

療養環境の向上、提供する診療機能の向上を目指します

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R4目標値	R4実績	R3実績
診療機能向上のための機器整備	医師、医療技術職、看護職、事務職	手術支援ロボット、320列CT等の導入と稼働	4件	4件	-
患者への診療機能向上のためのMRI整備	医師、医療技術職、看護職、事務職	MRI2台体制の稼働	2件	2件	MRI発注、改修工事着工

III 経営・財務の視点		【将来構想】56～61ページ
経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

効果的な資材調達の実施及び働き方改革の推進で、健全経営の実現に努めます

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R4目標値	R4実績	R3実績
SPD業者との調達協議及び診材の見本市開催	医師、薬剤師、事務職	開催回数	4回	4回	3回
時間外削減と職員の健康維持のため、ノー残業デーの実施	事務職	課員全員帰宅回数	12回	13回	6回

職員行動計画書

【令和4年度】

科名	病院総務課	総括責任者	課長	野上 正志
—		副責任者	課長代理	高田 誠二 木村 明智

IV 職員の学習と成長の視点

【将来構想】62～63ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	-----------------------------------------------

「経営戦略」実現のための行動目標

病院事業の発展のため、職員の能力向上を目指します

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R4目標値	R4実績	R3実績
事務職向け研修会への積極的な参加	事務職	事務職向け研修会参加回数	4回/人	3.85回/人	2回/人 (感染対策研修・医療安全研修)
病院フォーラムでの発表	事務職	発表数	2件	2件	1件

V 社会貢献の視点

【将来構想】64～66ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	-----------------------------------------------

「経営戦略」実現のための行動目標

市民への医療情報の提供と病院周辺の環境維持に努めます

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R4目標値	R4実績	R3実績
出前講座（公民館）の開催	医師、医療技術職、看護職、事務職	公開講座開催数	12回	7回	10回
敷地周囲の清掃活動	事務職	活動回数	6回	6回	—

職員行動計画書

【令和4年度】

科名	医事課	総括責任者	課長	田丸 勝巳
—		副責任者	担当長	近藤 俊男 田邊 高達 芦野 義明

I 医療の質と効率の視点		【将来構想】50～52ページ
経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標					
①医療現場における事務の体制強化を図ります。 ②医療の質の向上と効率化を図ります。					
目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R4目標値	R4実績	R3実績
クリニカルパス利用の促進	事務職	パス利用数	3,300件	3,286件	3,009件
連携医療機関への訪問(医師同伴件数を増やす)	事務職、医師、看護師、MSW、PSW	年間件数	150件(うち医師同伴30件)	154件(うち医師同伴53件)	120件(うち医師同伴20件)
連携先医療機関への情報発信の強化	事務職	情報発信回数	4回/年	5回	3回

II 患者満足度の視点		【将来構想】53～55ページ
経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標					
①患者ニーズを捉え、満足度の高い医療の提供を図ります。 ②当院の医療提供体制を分かりやすく発信します。					
目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R4目標値	R4実績	R3実績
患者満足度調査の実施	事務職	総合評価点	入院 92点以上 外来 85点以上	入院 92.6点 外来 85.7点	入院 90.79点 外来 82.4点
「疾患・治療の説明書」の新規作成	医師、事務職	新規作成数	2種類	0種類	0種類

職員行動計画書

【令和4年度】

科名	医事課	総括責任者	課長	田丸 勝巳
—		副責任者	担当長	近藤 俊男 田邊 高達 芦野 義明

Ⅲ 経営・財務の視点

【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①施設基準の取得を推進します。
②コスト意識を持って経営に参画します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R4目標値	R4実績	R3実績
新規施設基準の取得を含む診療単価の向上	事務職	件数、入院診療単価	5件 80,000円	80,048円	2件
委託業者の精度調査実施の管理	事務職	回数	2回	1回	2回
医業未収金徴収の業者委託	事務職	未収金額	前年度比3%減	前年度比6.5%減	-
クリニック、病院からの紹介予約件数	事務職	受入件数	外来225件/月 検査210件/月	外来268件/月 検査198件/月	外来 213件/月 検査 198件/月

Ⅳ 職員の学習と成長の視点

【将来構想】62～63ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	-----------------------------------------------

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①「人」としての質と「組織」としての質を高めることができる風土づくりを推進します。
②委託業者への研修をします。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R4目標値	R4実績	R3実績
院外の研修会に参加	事務職	件数	1人につき年1回	地域連携や救急関連のWEB講習に一部職員参加	-

Ⅴ 社会貢献の視点

【将来構想】64～66ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	-----------------------------------------------

「経営戦略」実現のための行動目標

積極的に地域活動や人材育成などの社会貢献活動に参加協力します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R4目標値	R4実績	R3実績
救急救命士病院実習受入人数	事務職	人数	毎年55人以上	84人	76人